

“100歳になった時も
安心して住める家であること”

100

住宅という
信念。

品質にこだわれば 長く住める「木造住宅」。

これまで日本の住宅の寿命は欧米諸国と比べて大変短いと言われてきました(約30年)。しかし本来の木造住宅の強さは、実は違うのです。工法、施工品質、管理を怠りなくつくれば、木造住宅は100年以上の寿命を実現できる建物なのです。

35歳で建てたマイホームが寿命30年だとしたら、65歳の頃には、雨漏りはする、建物は傾く、台風でも来ようものなら不安だらけの家になるでしょう。

子や孫の時代となる頃にも、安心して家族を守る超寿命住宅であるために、それが、ゼロホームが100年住宅という信念にこだわり続ける理由です。



ゼロホームがつくる住宅は、新築の時点から数十年後の未来を想定し、躯体を傷めずに部材を取替えてできる工夫がなされています。

大切なのは、正しい メンテナンスを続けること。

良い家を建てるだけでは、100年住宅にはなりません。建てた家に、住まい手とつくり手がどのように関わり続けるか。つまり正しいメンテナンスを続けていくことが何より重要になります。

ゼロホームは「住宅はお引き渡しはゴールではなく、そこから新たなスタート」と考えています。独自の構造50年保証や10年目以降5年ごとの定期点検(※)の実施、日々の不具合やお困り事への対応など手厚いアフターメンテナンス体制で、親から子へ、子から孫へと50年先、100年先にも住み継いでいただけるよう、お客様とともに大切なお住まいを守り続けます。

※10年目以降の定期点検は有料です。



マイホームが今どんな状態なのかを知り、必要なメンテナンスをするためにも、定期点検は必ず実施しましょう。

低価格と高品質を両立させる 「ゼロホームの家」。

いま時代が求めているのは、低価格でありながら高品質なもの。すでに衣料や家具などさまざまな分野でそれに応える商品があふれています。一生のうちで最も大きな買い物である住宅にも、当然のようにローコストと高品質が強く求められています。

ゼロホームは、木造住宅の構造や基本性能を、改めてすみずみまで検証しました。そして従来から漠然と行われていた施工方法の重要ポイントを再度見直し、管理を徹底するシステムを確立することで、時代の要求に応えることができました。実績と実践に基づいた「低価格でも100年住める木造住宅」が、その答えです。



ショールームでは、どんな材料を使い、どんな過程や技術で建築されているのかを、実物大の構造モデルでご紹介しています。

